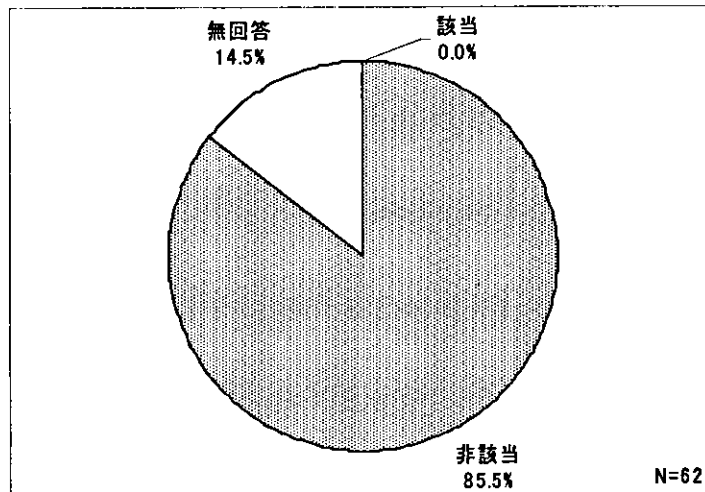


コ 小児慢性疾患

小児慢性疾患に関しては、「非該当」が85.5%であり、「該当」は全く見られなかった。

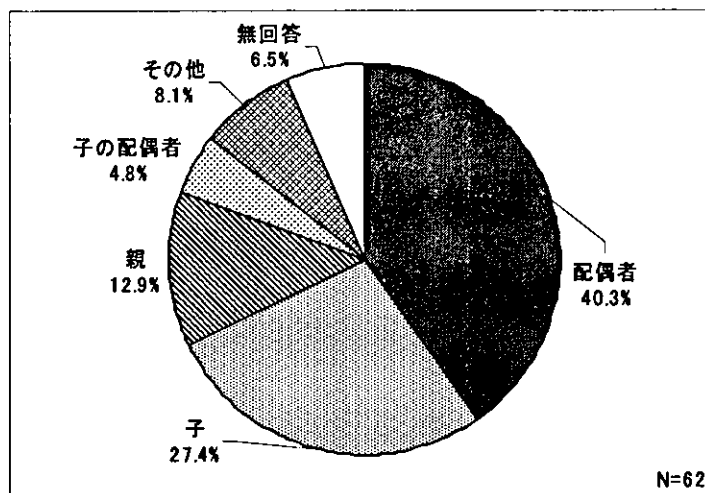
図表 100 小児慢性疾患



サ 主たる介護者

主たる介護者は、「配偶者」が40.3%と最も多く、次いで「子」が27.4%、「親」が12.9%であった。

図表 101 主たる介護者



(2) 訪問看護の実施概要

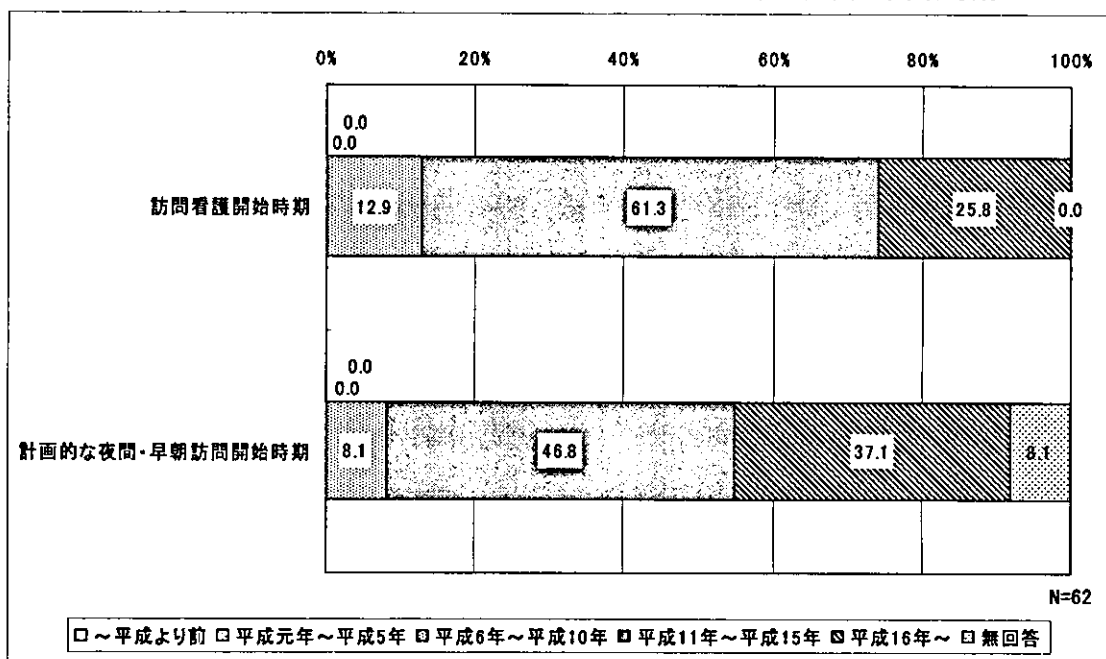
ア 訪問看護の開始時期

訪問看護の開始時期は、「平成11年～平成15年」が61.3%と最も多く、次いで「平成16年以降」が25.8%、「平成6年～平成10年」が12.9%であった。

イ 訪問看護の開始時期

また、訪問看護の計画的な夜間・早朝訪問の開始時期は、「平成11年～平成15年」が46.8%と最も多く、次いで「平成16年以降」が37.1%、「平成6年～平成10年」が8.1%であった。

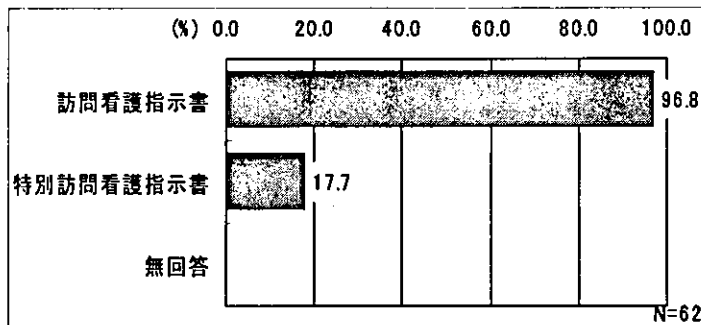
図表 102 訪問看護の開始時期と計画的な夜間・早朝訪問の開始時期



ウ 訪問看護の指示書の種類

訪問看護の指示書の種類としては、「訪問看護指示書」が96.8%、「特別訪問看護指示書」が17.7%であった。

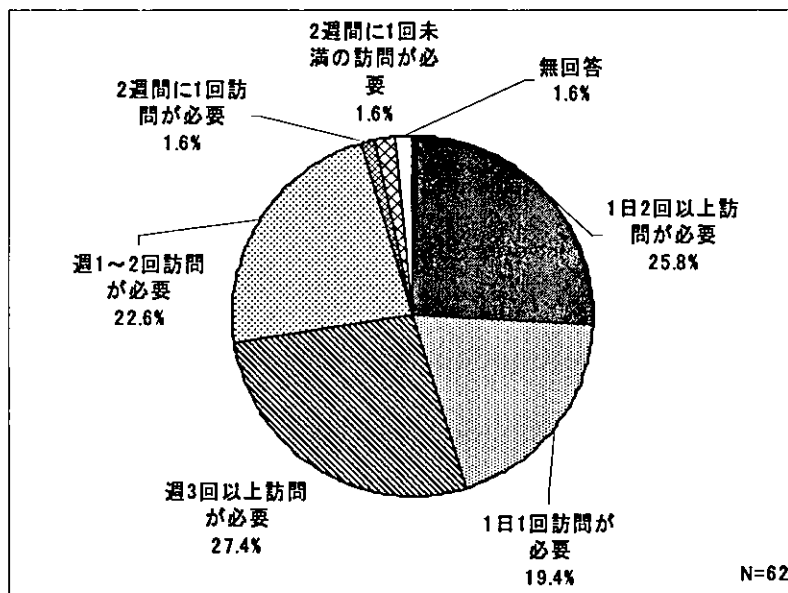
図表 103 訪問看護の指示書の種類



エ 訪問看護の看護観察・対応の必要性

訪問看護の看護観察・対応の必要性は、「週3回以上訪問が必要」(27.4%)が最も多く、次いで「1日2回以上訪問が必要」(25.8%)、「週1~2回訪問が必要」(22.6%)であった。

図表 104 訪問看護の看護観察・対応の必要性



なお、年齢別にみると、「80歳以上」に関しては、他の年齢階級に比べて訪問頻度が低くなっていた（「週1回～2回訪問が必要」が47.4%、約半数）が、「60歳未満」に関しては、「1日2回以上訪問が必要」（30.8%）、「週3回以上訪問が必要」（38.5%）となっており、週3回以上の訪問が9割以上を占めていた。

図表 105 年齢別訪問看護の看護観察・対応の必要性

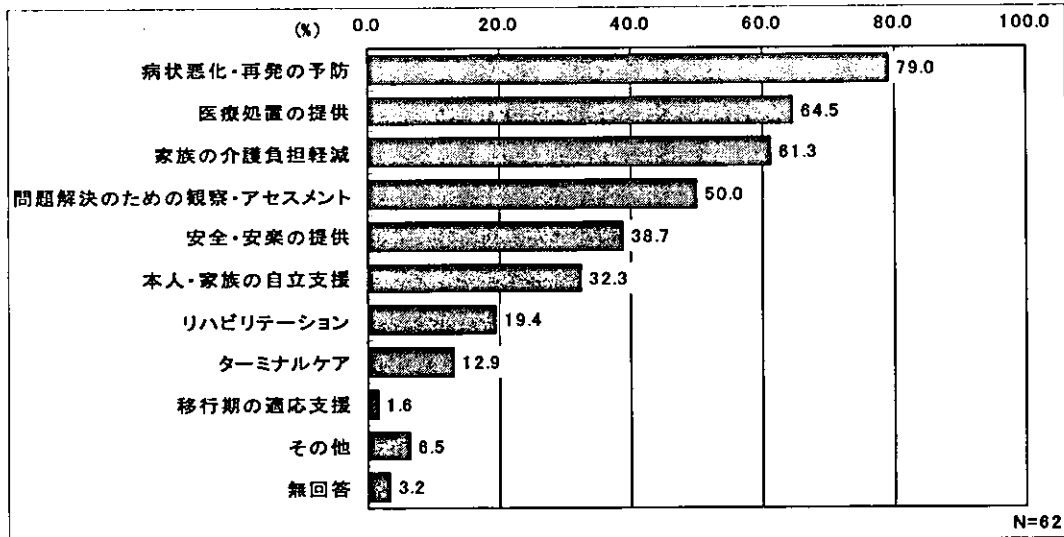
	件数	1日2回以上訪問が必要	1日1回訪問が必要	週3回以上訪問が必要	週1回2回訪問が必要	2週間以上1回訪問が必要	2週間の訪問に1回が未必要	無回答
合計	62	25.8	19.4	27.4	22.6	1.6	1.6	1.6
年齢 60歳未満	13	30.8	23.1	38.5	7.7	-	-	-
60～69歳	11	18.2	27.3	36.4	18.2	-	-	-
70～79歳	16	31.3	18.8	25.0	12.5	6.3	6.3	-
80歳以上	19	21.1	15.8	15.8	47.4	-	-	-
無回答	3	33.3	-	33.3	-	-	-	33.3

(3) 訪問看護の利用目的

ア 現在の訪問看護全般の利用目的

現在の訪問看護全般の利用目的は、「病状悪化・再発の予防」(79.0%)が最も多く、次いで「医療処置の提供」(64.5%)、「家族の介護負担軽減」(61.3%)であった。

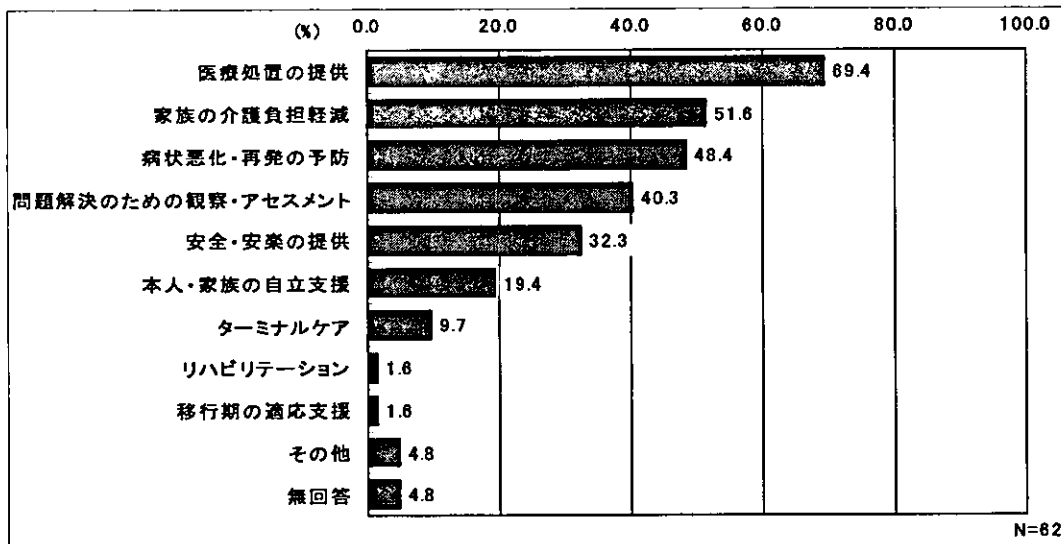
図表 106 現在の訪問看護全般の利用目的



イ 現在の夜間・早朝訪問の利用目的

現在の夜間・早朝訪問の利用目的は、「医療処置の提供」(69.4%)が最も多く、次いで「家族の介護負担軽減」(51.6%)、「病状悪化・再発の予防」(48.4%)であった。

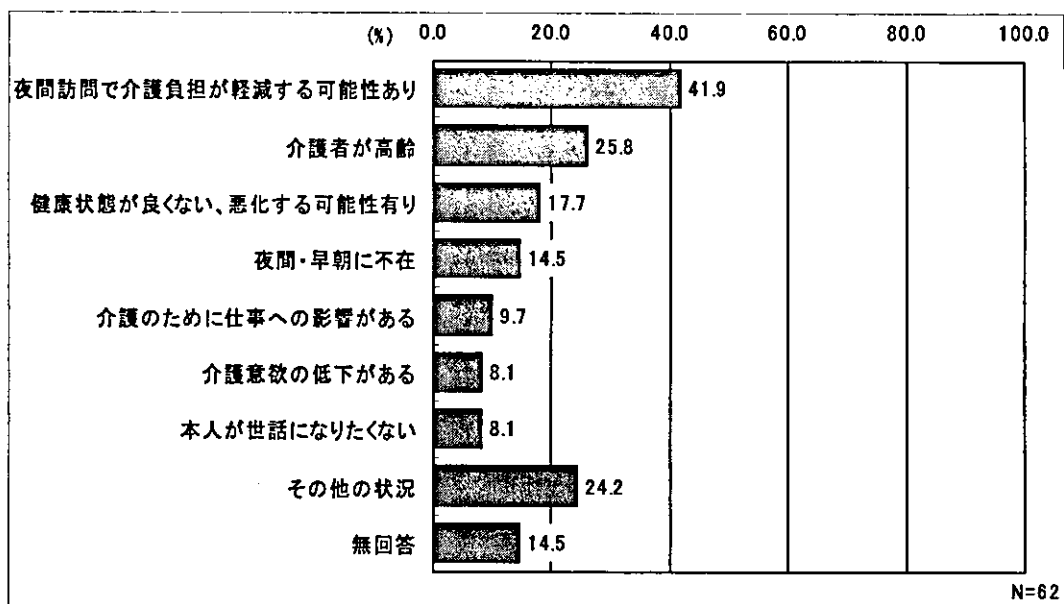
図表 107 現在の夜間・早朝訪問の利用目的



(4) 介護者の状況

介護者の状況は、「夜間訪問で介護負担が軽減する可能性あり」(41.9%) が最も多く、次いで「介護者が高齢」(25.8%) であった。

図表 108 介護者の状況

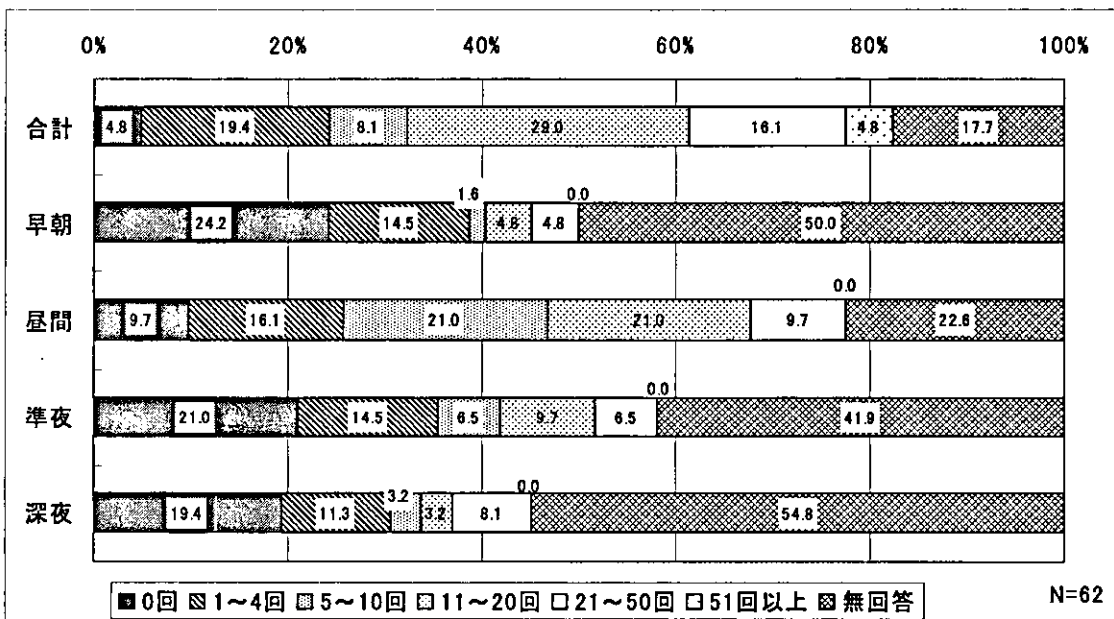


(5) 計画上の1ヶ月の予定訪問回数

ア 計画上の1ヶ月の予定訪問回数(月曜日～金曜日)

計画上の7月1ヶ月の平日の訪問予定回数は、「11～20回/月」(29.0%)が最も多く、次いで「1～4回/月」(19.4%)であった。平均は18.3回/月であった。
 また、時間帯別に予定訪問回数を見ると、早朝(6:00～8:00)は、「0回/月」(24.2%)が最も多く、次いで「1～4回/月」(14.5%)であった。平均は4.8回/月であった。
 昼間(8:00～18:00)は、「5～10回/月」(21.0%)、「11～20回/月」(21.0%)が多く、次いで「1～4回/月」(16.1%)であった。平均は11.4回/月であった。
 準夜(18:00～22:00)は、「0回/月」(21.0%)が最も多く、次いで「1～4回/月」(14.5%)であった。平均は6.5回/月であった。
 深夜(22:00～6:00)は、「0回/月」(19.4%)が最も多く、次いで「1～4回/月」(11.3%)であった。平均は7.1回/月であった。

図表 109 計画上の7月1ヶ月の予定訪問回数(月曜日～金曜日)



イ 計画上の1ヶ月の予定訪問回数（土曜日）

計画上の7月1ヶ月の土曜日の予定訪問回数は、「0回/月」（22.6%）が最も多く、次いで「1～4回/月」（19.4%）であった。平均は、4.3回/月であった。

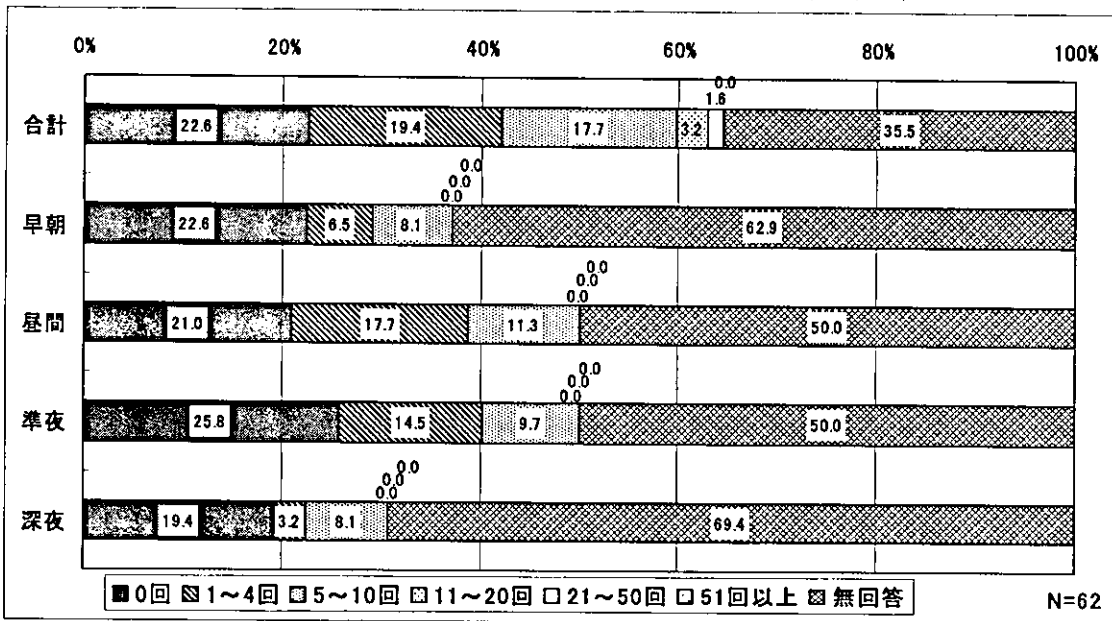
また、時間帯別に予定訪問回数を見ると、早朝（6：00～8：00）は、「0回/月」（22.6%）が最も多く、次いで「5～10回/月」（8.1%）であった。平均は1.4回/月であった。

昼間（8：00～18：00）は、「0回/月」（21.0%）が多く、次いで「1～4回/月」（17.7%）であった。平均は、2.5回/月であった。

準夜（18：00～22：00）は、「0回/月」（25.8%）が最も多く、次いで「1～4回/月」（14.5%）であった。平均は、1.7回/月であった。

深夜（22：00～6：00）は、「0回/月」（19.4%）が最も多く、次いで「5～10回/月」（8.1%）であった。平均は、2.1回/月であった。

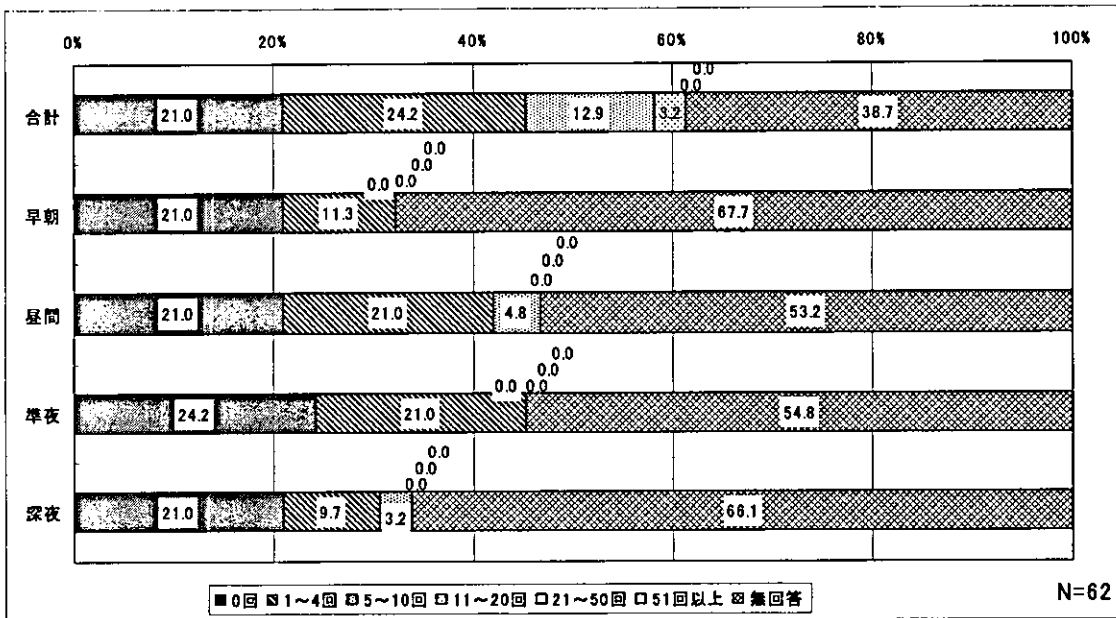
図表 110 計画上の7月1ヶ月の予定訪問回数（土曜日）



ウ 計画上の1ヶ月の予定訪問回数（日曜日）

計画上の7月1ヶ月の日曜日の予定訪問回数は、「1~4回/月」(24.2%)が最も多く、次いで「0回/月」(21.0%)であった。平均は、3.5回/月であった。
 また、時間帯別に予定訪問回数を見ると、早朝(6:00~8:00)は、「0回/月」(21.0%)が最も多く、次いで「1~4回/月」(11.3%)であった。平均は、1.1回/月であった。
 昼間(8:00~18:00)は、「0回/月」(21.0%)、「1~4回/月」(21.0%)が多く、次いで「5~10回/月」(4.8%)であった。平均は、2.0回/月であった。
 準夜(18:00~22:00)は、「0回/月」(24.2%)が最も多く、次いで「1~4回/月」(21.0%)であった。平均は、1.3回/月であった。
 深夜(22:00~6:00)は、「0回/月」(21.0%)が最も多く、次いで「1~4回/月」(9.7%)であった。平均は、1.6回/月であった。

図表 111 計画上の7月1ヶ月の予定訪問回数（日曜日）

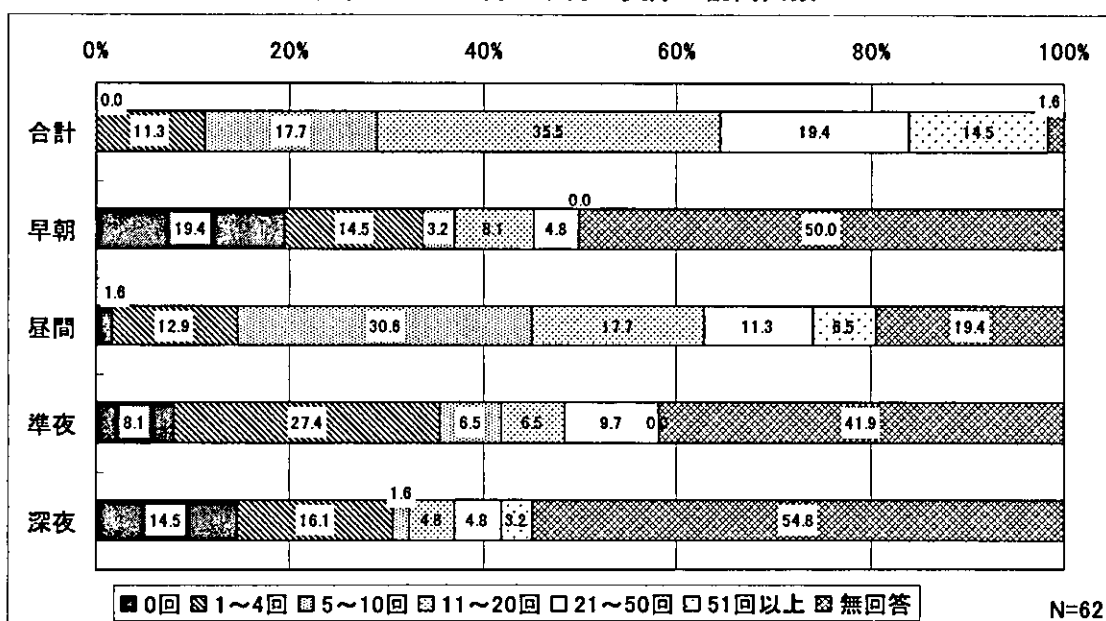


(6) 7月1ヶ月の実際の訪問

ア 7月1ヶ月の実際の訪問回数と時間帯別訪問回数

7月1ヶ月の実際の訪問回数は、「11～20回/月」(35.5%)が最も多く、次いで「21～50回/月」(19.4%)、「5～10回/月」(17.7%)であった。平均は、31.7回/月であった。また、時間帯別に訪問回数をみると、早朝(6:00～8:00)については、「0回/月」(19.4%)が最も多く、次いで「1～4回/月」(14.5%)であった。平均は、6.7回/月であった。昼間(8:00～18:00)は、「5～10回/月」(30.6%)が最も多く、次いで「11～20回/月」(17.7%)であった。平均は、22.7回/月であった。準夜(18:00～22:00)は、「1～4回/月」(27.4%)が最も多く、次いで「21～50回/月」(9.7%)であった。平均は、7.9回/月であった。深夜(22:00～6:00)は、「1～4回/月」(16.1%)が最も多く、次いで「0回/月」(14.5%)であった。平均は、9.8回/月であった。

図表 112 7月1ヶ月の実際の訪問回数



イ 1回あたりの訪問時間（時間帯別）

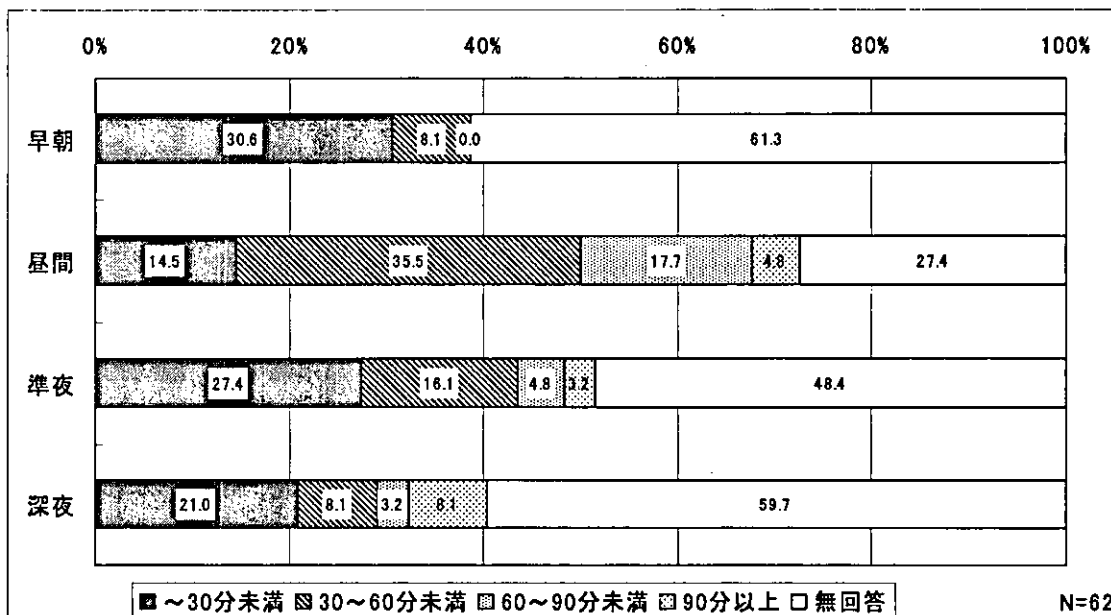
早朝（6：00～8：00）については、「～30分未満／回」（30.6％）が最も多く、次いで「30～60分未満／回」（8.1％）であった。平均は、22.3分／回であった。

昼間（8：00～18：00）については、「30～60分未満／回」（35.5％）が最も多く、次いで「60～90分未満／回」（17.7％）であった。平均は、60.1分／回であった。

準夜（18：00～22：00）については、「～30分未満／回」（27.4％）が最も多く、次いで「30～60分未満／回」（16.1％）であった。平均は、41.6分／回であった。

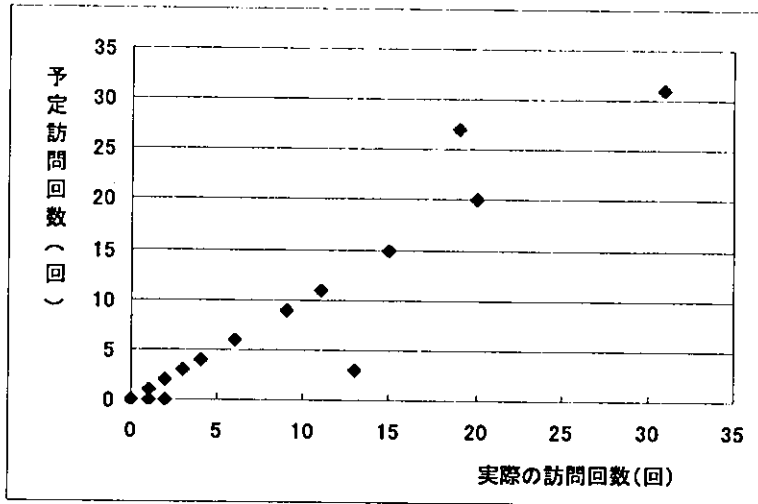
深夜（22：00～6：00）については、「～30分未満／回」（21.0％）が最も多く、次いで「30～60分未満／回」（8.1％）、「90分以上／回」（8.1％）であった。平均は、77.0分／回であった。

図表 113 1回あたりの訪問時間

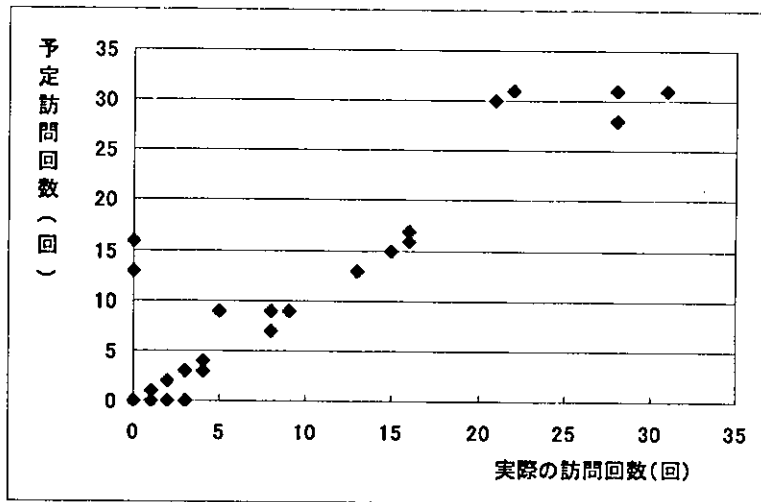


なお、早朝・準夜・深夜の時間帯の予定訪問回数と実際の訪問回数を比較したところ、概ね差は見られなかった。早朝においては、予定訪問回数と実訪問回数の相関係数は0.978（pearsonの相関係数、以下同様）、準夜では0.943、深夜では0.999であった。以下に予定訪問回数と実訪問回数の相関図を示す。

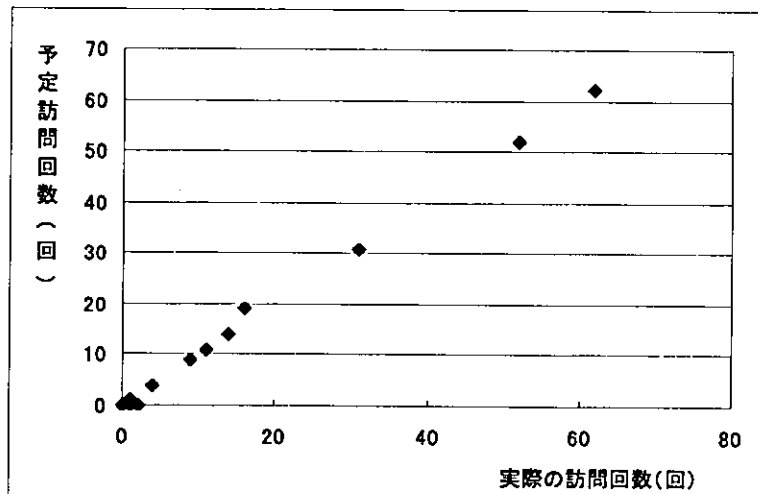
図表 114 予定訪問回数と実際の訪問回数の比較（早朝）



図表 115 予定訪問回数と実際の訪問回数の比較（準夜）

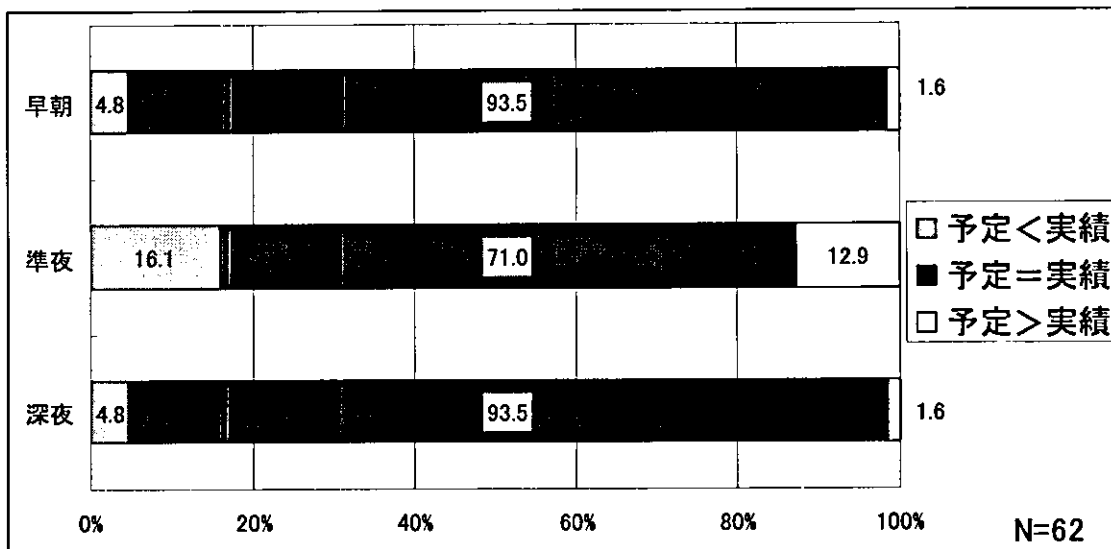


図表 116 予定訪問回数と実際の訪問回数の比較（深夜）



また、各時間帯において、予定訪問回数と実際の訪問回数のどちらが多いかを比較した。その結果、早朝、深夜においてはほぼ計画値と実績値が同じであったが、準夜帯においては、計画値と実績値が同じ人が 71.0%、予定訪問回数よりも実際の訪問回数が多い人が 16.1%、予定訪問回数が実際の訪問回数より多い人が 12.9%となっており、他の時間帯と比較してばらつきがみられた。

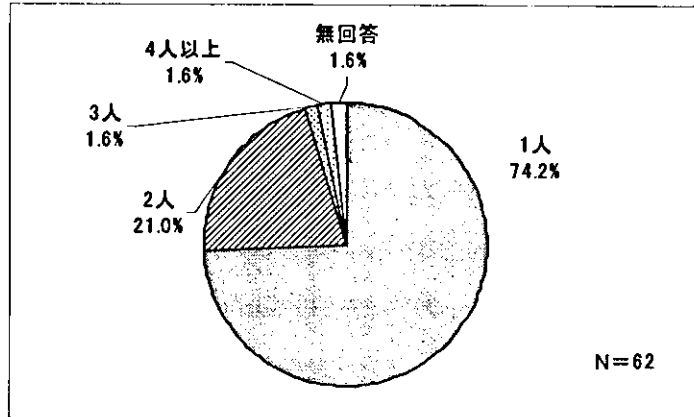
図表 117 予定訪問回数と実際の訪問回数の比較（夜間・早朝）



(7) 夜間・早朝の1回の訪問スタッフ数

夜間・早朝の1回の訪問スタッフ数は、「1人」が74.2%で最も多く、次いで「2人(1.5人を含む)」が21.0%であった。平均は1.4人であった。

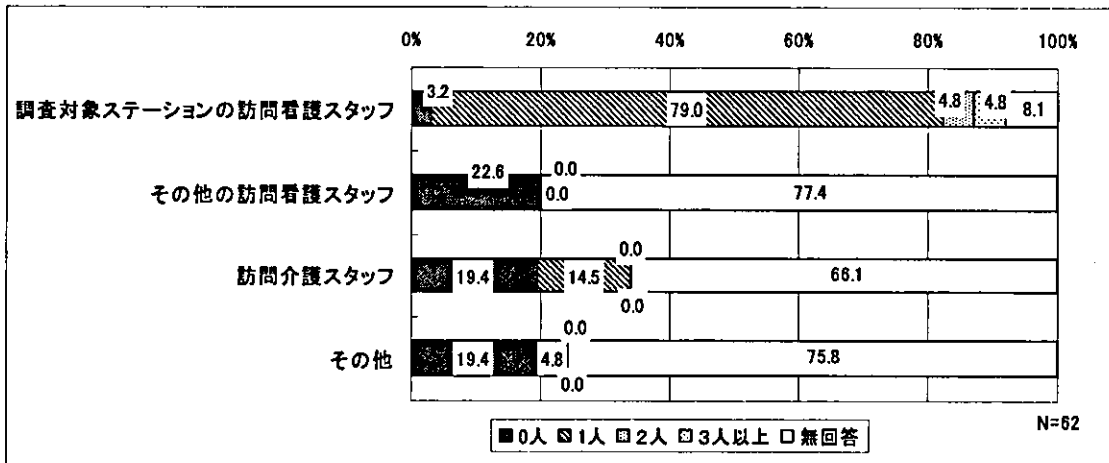
図表 118 夜間・早朝の1回の訪問スタッフ数



また、これをスタッフ種別でみると、調査対象ステーションのスタッフは、「1人」が79.0%で最も多く、次いで「2人」、「3人以上」がそれぞれ4.8%であった。平均は1.3人であった。

その他の訪問看護スタッフは、「0人」が22.6%で、調査対象以外のステーションとの共同訪問は見られなかった。訪問介護スタッフは、「0人」が19.4%で最も多く、次いで「1人」が14.5%であった。平均は0.4人であった。その他のスタッフは、「0人」が19.4%で最も多く、次いで「1人」が4.8%であった。平均は0.2人であった。

図表 119 夜間・早朝の1回の訪問スタッフ数



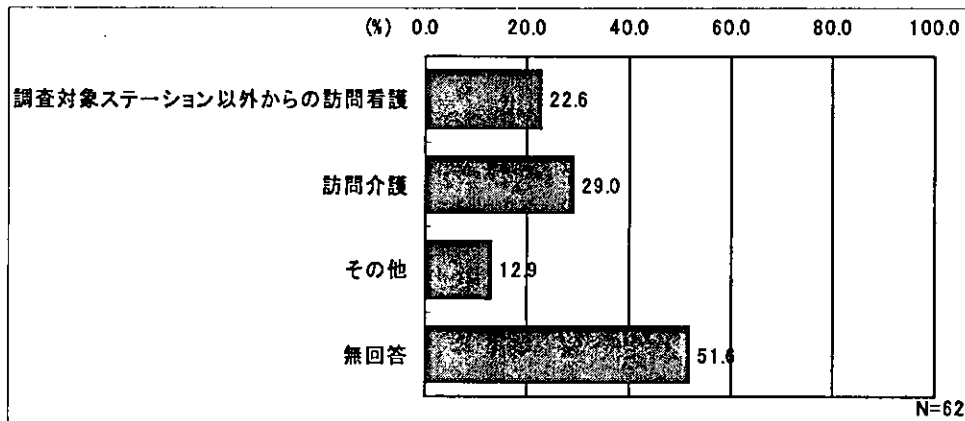
(8) 利用している夜間・早朝の他のサービス

利用している夜間・早朝の他のサービスは、「調査対象ステーション以外からの訪問看護」が22.6%で最も多く、次いで「訪問介護」が29.0%、「その他」が12.9%であった。各サービスの訪問回数は、「調査対象ステーション以外からの訪問看護」は、「1～4回/週」が50.0%で最も多かった。次いで「11～20回/週」が7.1%であった。平均は、3.6回/週であった。

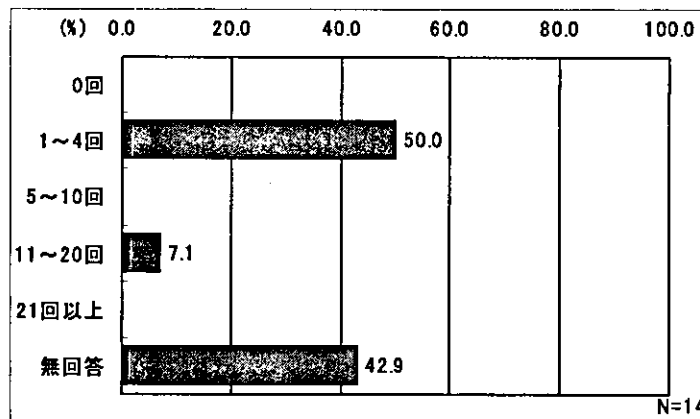
「訪問介護」は、「1～4回/週」が38.9%で最も多く、次いで「5～10回/週」が33.3%であった。平均は、7.3回/週であった。

「その他」は、「1～4回/週」が62.5%で最も多く、次いで「5～10回/週」が12.5%であった。平均は、2.1回/週であった。

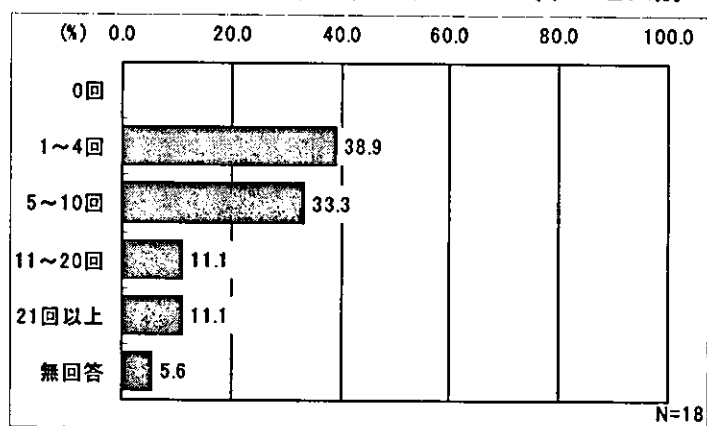
図表 120 利用している夜間・早朝の他のサービス



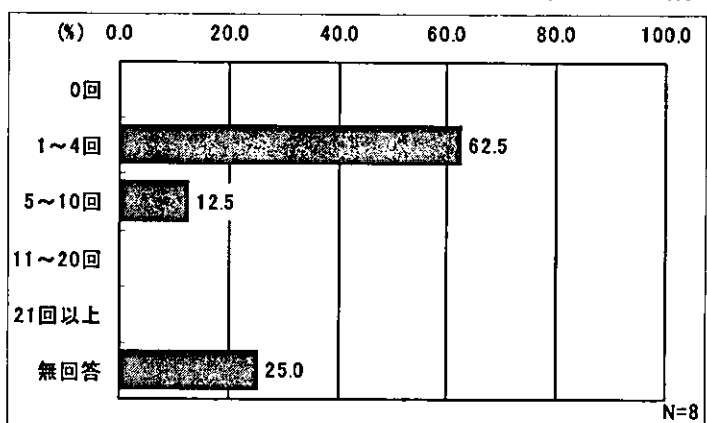
図表 121 利用している夜間・早朝の他のサービス (サービス別：調査対象ステーション以外からの訪問看護)



図表 122 利用している夜間・早朝の他のサービス（サービス別：訪問介護）



図表 123 利用している夜間・早朝の他のサービス（サービス別：その他）

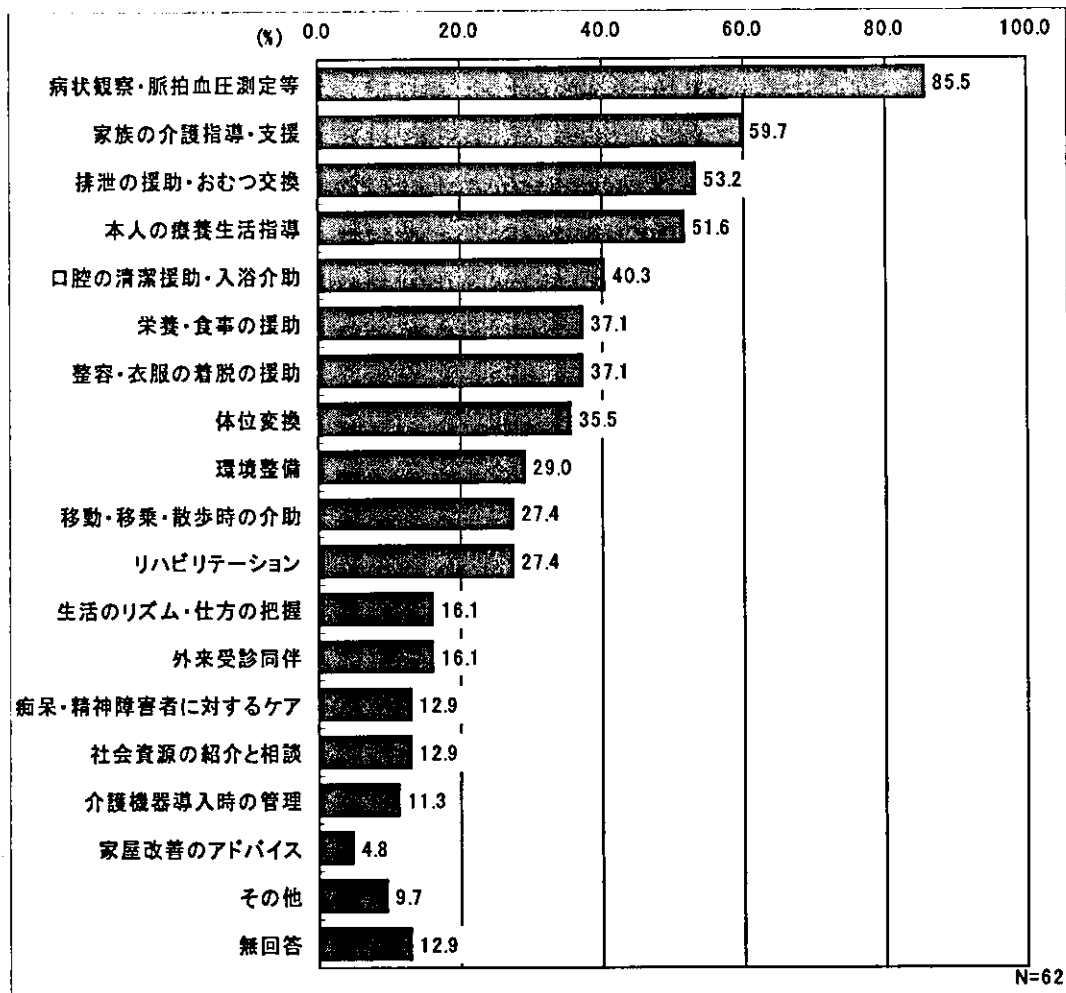


(9) 昼間、夜間・早朝に実施した看護・介護ケア

ア 昼間 (8:00~18:00) に実施した看護・介護ケア

7月1ヶ月間に調査対象ステーションで昼間(8:00~18:00)に実施した看護・介護ケアは、「病状観察・脈拍血圧測定等」が85.5%で最も多かった。次いで「家族の介護指導・支援」59.7%、「排泄の援助・おむつ交換」53.2%であった。

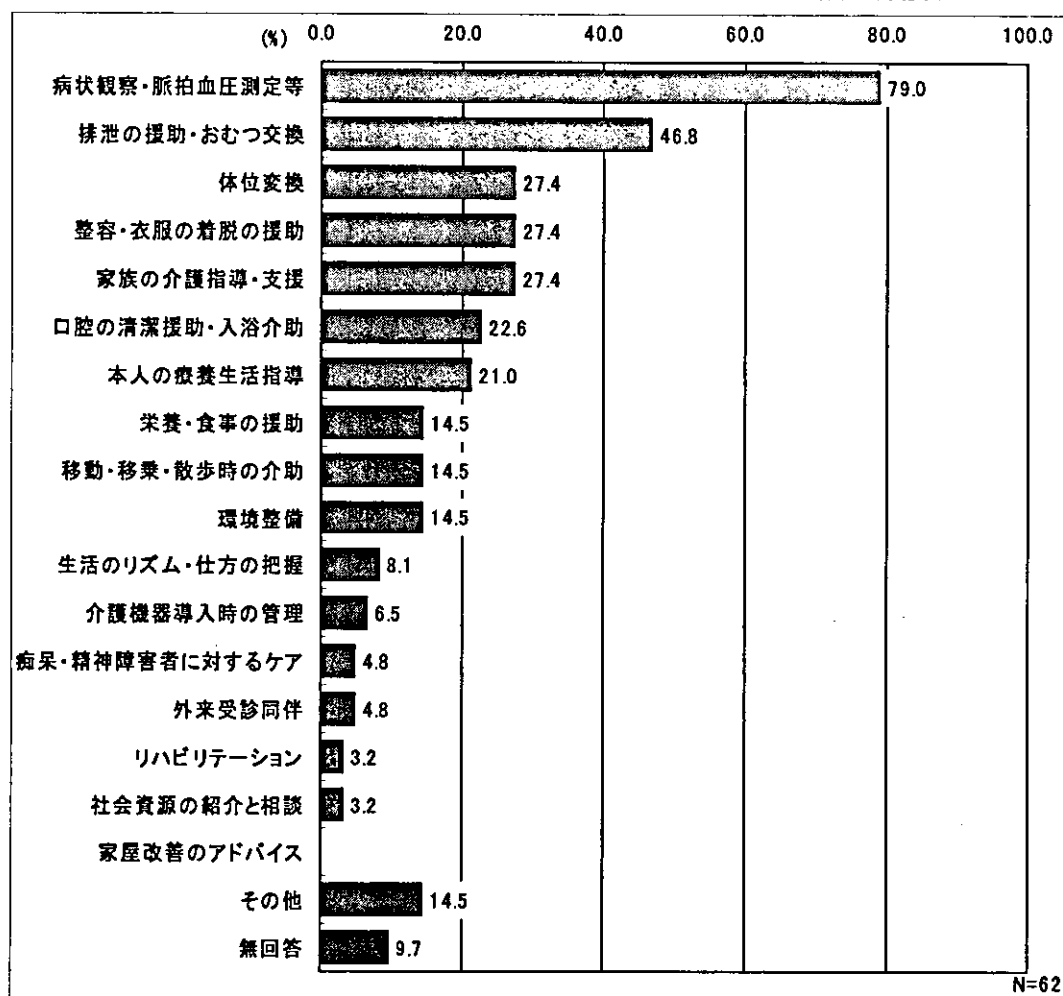
図表 124 昼間 (8:00~18:00) に実施した看護・介護ケア



イ 夜間・早朝（18：00～翌6：00）に実施した看護・介護ケア

7月1ヶ月間に調査対象ステーションで夜間・早朝（18：00～翌6：00）に実施した看護・介護ケアは、「病状観察・脈拍血圧測定等」が79.0%で最も多かった。次いで「排泄の援助・おむつ交換」46.8%、「体位変換」・「整容・衣服の着脱の援助」・「家族の介護指導」27.4%であった。

図表 125 夜間・早朝（18：00～翌6：00）に実施した看護・介護ケア

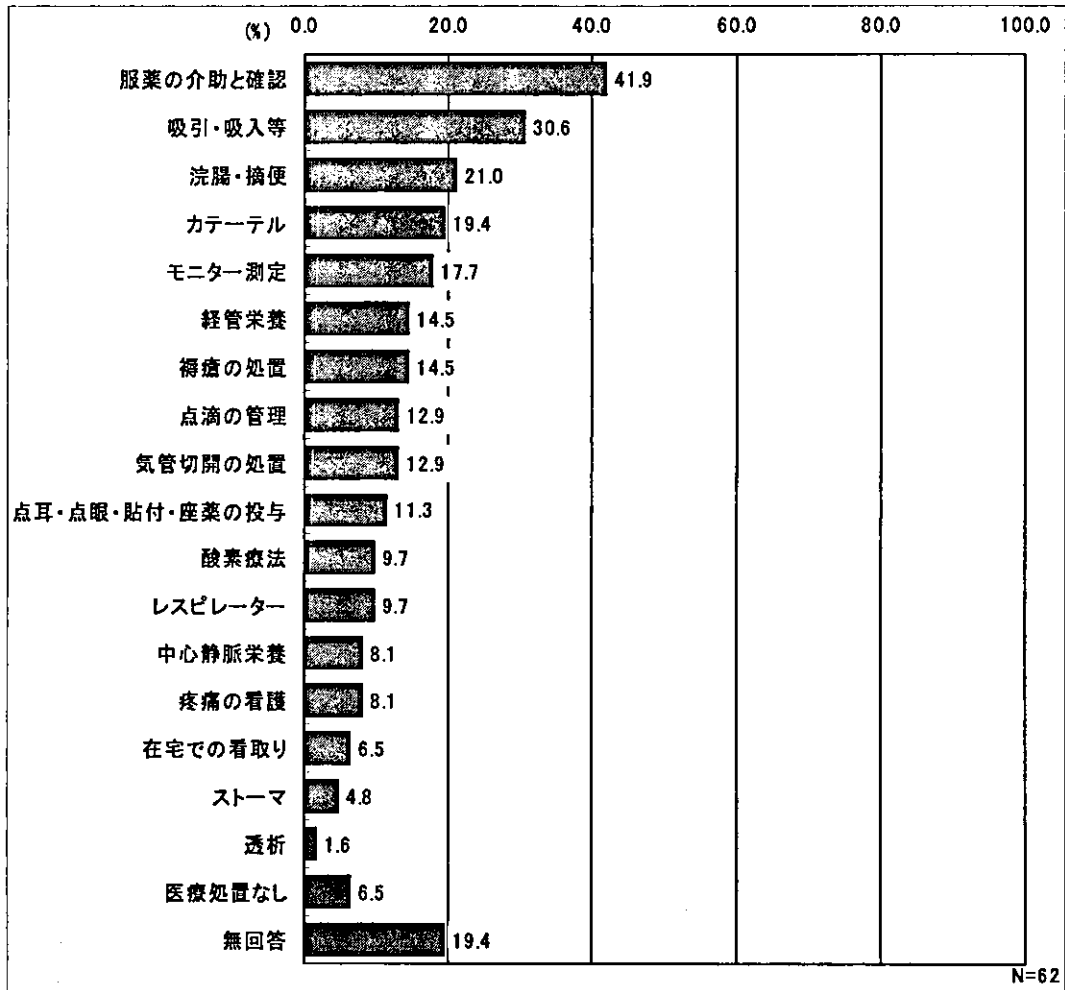


(10) 昼間、夜間・早朝に実施した医療処置

ア 昼間(8:00~18:00)に実施した医療処置

7月1ヶ月間に調査対象ステーションで昼間(8:00~18:00)に実施した医療処置は、「服薬の介助と確認」が41.9%で最も多かった。次いで「吸引・吸入等」30.6%、「浣腸・摘便」21.0%であった。

図表 126 昼間(8:00~18:00)に実施した医療処置



イ 夜間・早朝（18：00～翌6：00）に実施した医療処置

7月1ヶ月間に調査対象ステーションで夜間・早朝（18：00～翌6：00）に実施した医療処置は、「吸引・吸入等」・「服薬の介助と確認」が29.0%が多かった。次いで「モニター測定」14.5%であった。

図表 127 夜間・早朝（18：00～翌6：00）に実施した医療処置

